

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		株式会社 TAISHI				
役職		代表取締役				
氏名		菅野 剛	ふりがな	かんの たけし	生年	1971年
連絡先	住所	〒	060-0061	札幌市中央区南1条西7丁目12-6 パークアベニュービル10F		
	固定電話	011-221-0033			携帯電話	
	メールアドレス	kanno@taishi-hkd.jp				


2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1995年より5年間台湾在住。日系商社にて日本向け貿易業務から大広台湾プランチを経て、JTBグループの広告会社へ入社。帰国後、北海道にてJTBグループ広告会社勤務。 ◆2004年よりJTB北海道営業本部を経て、2006年4月の分社後、JTB北海道・市場開発室プロジェクトディレクターに就任。 ◆2011年10月より株式会社TAISHI代表取締役として、食と観光による地域活性化事業を推進。 ◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録） 	
取組内容・実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◆2011年度 経済産業省「平成23年度中心市街地商業等活性化支援業務」派遣専門家 ◆2011年度 「中心市街地商業等活性化支援業務」(経済産業省、(株)まちづくり稚内) ◆2012年度 「日本一のもち米を活用した観光プランニング推進調査事業」(風連商工会) ◆2012年度 「沖縄県初・産業回遊型観光開発とコースマーケティング型特産品開発」(西原町商工会) ◆2013年度 「ロングトレイルを活用した観光プラットフォームモデル創出事業」(観光庁・中標津町) ◆2013年度 「道内空港を活用した道産品輸出等トライアル事業」(北海道) ◆2014年度 沖縄県初！闘牛文化リマスタープロジェクト事業(株)JTB総合研究所・うるま市商工会) ◆2014年度 「ロングトレイルを活用したプラットフォームモデル創出事業 (一社)なかしべつ観光協会を軸とした着地型旅行商品モデル創出に向けて」(観光庁・中標津町) ◆2015年度 天空都市・松尾鉱山観光資源化プロジェクト(八幡平市・八幡平市商工会) ◆2015年度 別海町観光振興外部専門家招聘事業(別海町) ◆2016年度 豊浦町伴走型小規模事業者支援推進事業(豊浦町商工会) ◆2017年度 弟子屈町 地域ブランド再構築地域ブランド共通デザイン開発業務(摩周湖観光協会) ◆2018年度 受入体制整備調査検討業務委託(白老町) ◆2019年度 白老町観光消費動向調査・二次交通調査検討業務(白老町) ◆2020年度 白老町来訪者受入体制向上・魅力発信業務(白老町) ◆2020年度 地域雇用活性化推進事業「UIJターン就労体験」プロモーション業務(南知床4町地域雇用創造協議会・中標津町) ◆2021年度 エリア最大の誘客拠点「美幌峠」における観光DXと地域エコシステム構築事業(美幌商工会議所・※共同・協業販路開拓支援補助金活用) ◆2022年度 地域おこし協力隊募集支援業務(中標津町) ◆2022年度・2023年度 奥尻島観光戦略づくり支援業務(奥尻島観光協会) ◆2023年度 フェリー等を一時的な宿泊施設として活用するための実証調査(奥尻・北海道運輸局) ◆2023年度 開陽台の活性化に向けた検討調査支援業務(中標津町) 	
取組分野 (テーマ)	● 観光	(観光による経済振興策の策定及び運用支援、地域産品を活用した特産品開発・販売支援)
	移住・定住・関係人口	(
	農林水産業	(
	● 起業支援	(経営戦略の構築支援、事業計画の策定・作成支援)
	まちなか再生	(
	集落再生	(
	環境	(
その他	(

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
株式会社TAISHI	http://taishi-hkd.co.jp/
運営管理・道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」	https://bihoropass.jp/

4. ふるさと財団での実績	
外部 活用 専門家 助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆2022～2024年度 北海道寿都町「観光不条件立地の新たな観光ビジネス戦略～寿の都から始める観光戦略推進事業」 ◆2016年度 岩手県八幡平市 「ICTを活用したウェブプロモーションによる観光地魅力訴求モデル構築事業」 ◆2012年度 北海道中標津市 「エリアラッピング型・中標津町観光ブランド形成の可能性検討調査事業」 ◆2011年度 北海道名寄市 「農商工連携型観光クラスター形成による地域再生プロジェクト」
遠外 専門家 派 (短期 診断)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2019年度 北海道岩内町 ◆2014年度 秋田県能代市 「地域資源を活用した地域再生」 ◆2011年度 北海道中標津市
地域 再生 セミナー	
その他 ほか	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和5年度 地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/e9ed7b07cd8fdc3a4dc84539afae2c0f.pdf
令和4年度 地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/fcafec087f03036099bdd59a19b07fd.pdf
令和3年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chiikisaiseihoukoku.pdf
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chiikisaisei_houkokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26ijiyohoukokusyo.pdf
平成24年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchiki-houkokusyo.pdf
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchikisaiseiM-houkokusho.pdf

6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域や人材の挑戦したい気持ちを支援させてください。地域振興の領域で、私が、これまで培ってきたノウハウを活かし、新たな時代に対応した、「その地域独自の未来づくり」を伴走して探してまいります。最も重要視するのは、既存の地域資源が持っている可能性を、地域の皆さまが実感し、自信を持つ事だと考えます。そして、地域資源を活かした、様々な事業を展開し、小さな成功を積み上げる事が、地域主体となった事業推進力を持つ事が目指すところです。</p>